



2014-15 年度 R I のテーマ「ロータリーに輝きを」
R I 会長 ゲイリー・C. K. ホアン (Light Up Rotary)

八戸南ロータリークラブ会報



●ガバナー 工藤 武重 ●会長 榊 清蔵 ●幹事 伊藤 斉 ●コミュニケーション委員長 米内 安芸

ホームページ : <http://www.hi-net.ne.jp/~hsrclub/>

Email : hsrclub-2830@cd.hi-net.ne.jp

RI 第 2830 地区ホームページ : <http://www.rotary-aomori.org/2014/>

第 1931 回例会記録《次年度会長担当例会》クラブ協議会
2015 年 5 月 28 日 (木) 点鐘 12:30
レポート No. 1364

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1) 真実か どうか
- 2) みんなに公平か
- 3) 好意と友情を深めるか
- 4) みんなのためになるか どうか

第 1931 回例会要旨

- ・ 会長要件
- ・ 幹事報告
- ・ 次年度幹事報告
- ・ 各委員会報告
 《出席・親睦・R財団》
- ・ クラブ協議会



熊谷 S A A



《出席報告》桜田委員長

正会員数 45 名。本日の出席は免除
会員 3 名を含む 29 名。出席率 79%
です。前々会の例会は、お花見例
会でした。

《会長要件》赤穂副会長



今日は榊会長の代わりに会長要件を
申し述べます。

四つのテストについてですが、この
四つのテスト素晴らしい言葉だとは思
いながらもなかなか暗記することが出
来ず、委員会での発表の時にも原稿を
見ながら行っていました。ロータリーの友 5 月号に
掲載されていたのですが、四つのテストの頭の文字
「し・み・こ・み」を頭に入れておけばとあり、車の中
などで、この「し・み・こ・み」を繰り返していたら一
か月でマスター出来ました。皆さんもやってみて
ください。

先月の 2 日、3 日に東京で八戸商業高等学校同窓
会東京支部の総会に出席した時の事です。総会後の
懇親会で大宮ロータリークラブの柴田悟さんと言う
方と一緒したのですが「赤穂さん、八戸南ロータ
リークラブですね」と声を掛けられました。「えっ」
と返事したら、「実は黒田先生とは先生が RI 会長代
理としていらしたときにお会いしたことがあります
し、蕪島トイレの事では野澤さんと、橋本精二さん
とはレスリング関係でお世話になりました」と言う
事でした。お話をしている中でクラブの会費を聞いた
ところ年間 33 万円と言う事でしたがクラブによっ
て大分違うものだと実感しました。八戸にお出での
時はメーキャップにお越しく下さいと伝えたとこ
ろ、機会があればお邪魔しますとの約束をして帰っ
て参りました。

《幹事報告》伊藤幹事

- ・ 先週お伝えした例会変更で八戸北 RC 6 月 2 日任意
休会、メーキャップ不可と間違えてお伝えしました。
メーキャップ可能です。
- ・ 5 月 14 日の理事会報告で漏れがありました、工藤

十四子さんから頂いた寄付金でクラ
ブのタスキを 30 本作る事を決議しま
したことをご報告いたします。

・ 年度末慰労例会・南風会ゴルフの
出欠を回しています。

・ 地区研修・協議会出席のお礼状が
届いています。

・ 青少年派遣・交換学生の案内が届いています。

・ レターボックスに新しいロータリー手帳と、ロー
タリーの友 6 月号が入っています。新年度からロー
タリーの月間目標が変わりますが手帳にも書いてあ
ります。

・ ザ・ロータリアン誌が届いています。



《次年度幹事報告》吉田次年度幹事



先週の次年度理事・役員会で年間プ
ログラム(案)と委員会編成(案)が
一部訂正の上承認されました。訂正し
たものをレターボックスに入れてあり
ますのでご確認ください。プログラム
内容について一部ご説明します。

・ 7 月の 8RC 合同例会の日程は 6 月 3 日に正式に決ま
りますので改めてご報告します。

・ 11 月の南浦項創立例会出席は国際奉仕活動として
行います。

・ 2 月のよろず相談の日程は南グループの IM の日程
で変更になる可能性があります。

・ 4 月 29 日の蕪島清掃は社会奉仕活動と青少年奉仕
活動として行います。

・ 委員会の編成は(案)と書いてありますが次年度
はこの委員会編成で進めますのでご自分の所属委員
会をご確認の上ご協力お願いします。

《ニコニコボックス》平光委員長

赤穂副会長：次年度会長よろしくお願
いします。

伊藤幹事：地区研修・協議会参加の皆
様、今日はよろしくお願
いします。

小原会員：伊藤次年度会長、担当例会
おめでとうございます。

平光会員：米内さん写真ありがとうございました。

鈴木会員、米内会員



《ロータリー財団》清川委員長

ガバナー事務所よりお願いが届いて
います。ロータリーレートは今月 118
円、来月も 118 円ですが寄付をお考え
の方は 6 月 19 日までにご送金くださ
います様お願いいたしますとの事です。も
し、お忘れになっている方がいらっ
しゃいましたらよろしくお願
いします。

《クラブ協議会》伊藤次年度会長

次年度会長担当例会と言う事です
が、クラブ協議会とさせていただきます。

2015-2016 年度の RI テーマは「Be a
gift to the world : 世界へのプレゼン
トになろう」です。具体的にどのよ
うな事をすればよいか悩むところ
ですが、2830 地区次年度ガバナーの鈴木さんは「私
たちはまずロータリーの奉仕活動を理解し、積極的に
地区やクラブでの奉仕活動に参加する事が求めら
れているのだと思います。」と仰っていました。要するに
私たちが日ごろ行っている奉仕活動を続けられ
ばいいのですから各委員長の皆様にはこの事を念頭
に置いて活動計画を立てて下さるようお願い致し
ます。また、「今年度地区やクラブに要求されること
で最も重要で困難な事はロータリーのデータベース
の使用かもしれません。」と述べておりますが、
これは国際ロータリーがクラブ役員はもとより各
クラブ会員に「マイロータリー」の登録・利用を求
めていることを受けての事です。私自身コンピュー
ターの操作はあまり得手ではありませんが、これ
からのクラブ運営には必須の条件でありチャレン
ジするしかありません。

さて、2015-2016 年度の地区テーマは「Miracle
1200 again : ミラクル 1200 を再び」です。現在
当地区の会員数は 1,150 名ほどで 3 年前の規定
審議会で決定された 1 地区会員定数最低 1,100
名のルールはクリアしていますが、地区としては
来年の規定審議会を前に、2016 年 1 月 1 日
までにどうしても会員 1,200 名を達成して他
地区の状況に関係なく後顧の憂いを無くし
たいとの事でした。これを受けて 1 クラブ最低
5 パーセントの純増を約束してほしいとの事
でしたが当クラブは現在 45 名ですから次年度
は純増 3 名を目指さなければなりません。皆
様のご協力をお願いします。このほか地区
の奉仕活動についての努力目標として 6 つの
項目を掲げていました。

1. 広報委員会での公共イメージ向上のため、
テレビでのロータリー広報を続ける

2. 職業奉仕活動として大学経済学部
にロータリーによる寄付講座を開
設し講師はロータリアンが務める
3. 国際奉仕活動としてポリオ対策
事業と水対策事業に力を入れる
4. ロータリー財団としての寄付目
標としては年次基金一人 100 ドル、
ポリオプラス一人 50 ドルですが
ポリオ対策を大きな目標とする事
から寄付目標額は増額の予定
5. 青少年奉仕部門ではインター
アクトの翼の再開(台湾)
6. 米山記念奨学部門では一人でも
多くの勉学に燃える外国の若者の
為に協力を

です。
この他、会長・幹事・会計部会では
新しい月間への取り組みについて質
問があり黒田元 RI 理事より、地区
コーディネーターを活用するよう
に助言がありました。また、特別講
演として黒田元 RI 理事のお話
がありましたが 3 月 5 日の例会
でお話して頂いたことが中心で
私たちのクラブは如何に恵まれて
いるか改めて実感しました。

さて、八戸南ロータリークラブの
2015-2016 年度のテーマを「一歩
前へ」といたします。我が八戸南
ロータリークラブは先般創立 40 周
年を無事終えました。私が八戸南
ロータリークラブへ入会させて頂
いたのは平成 21 年 7 月です。ま
だたった 6 年しか経っておりませ
んが八戸南ロータリークラブが 41
年目に向かって新たなスタートを
切るにあたり、先輩の皆様が築
いてきたクラブの歴史を大切に
しながらも後に続く若い会員の
為に、40 年前に檜山弥太郎特
別代表が目指したであろう「普
段着のロータリー」の心を大切
に一歩前へ踏み出したいと思
います。新年度は又、長嶺会
員のガバナーエレクトとしての
スタートでもあります。ホーム
クラブとして全面的に協力して
参りたいと考えておりますので
会員皆様のご協力をお願い致
します。具体的な目標は新年
度に改めて述べさせていただきます。
地区研修・協議会へは私
の他に 7 名の会員と 2 名の
地区委員長さんが参加して
おりますので皆様に一言ずつ
お願い致します。

《会長・幹事・会計部会》吉田次年度幹事



私が参加した分科会でもやはり
マイロータリーというウェブサ
イトの活用について、繰り返し
繰り返し言われており、すべて
の申請がウェブを通して行
われると言うような事でした。
私の得意とする分野で良かった
なと思いました。そのほかの報
告ですが名川ロータリークラ
ブさんが 7 月 1 日より南部
ロータリークラブと名称が
変わるという事でした。私
もロータリー歴が浅く解ら
ない言葉を沢山聞きながら、
昼食後の眠気と闘いながら
参加してきました。

《奉仕プロジェクト部会》鈴木会員

次年度職業奉仕委員長と言う
事で職業奉仕とその他の事も
あわせてような部会に出
席しました。それほど大
きな話題はなかったの
ですが、先程赤穂副
会長さんが仰っていた
四つ



のテストについて、新しい会員さんからの質問で 2 番と 4 番の違いがよく解らないとの事でしたが「みんなに公平か」と「みんなのためになるかどうか」との違いについてあまり明確な答えは出なかったように思いました。私個人的には、職業奉仕ですから商売を考えればいいのではないかと「みんなに公平か」誰にでも差を付けず物を販売する、同じ価格で皆に公平に販売する。「みんなのためになるかどうか」はそれぞれの人達のしたことの結果で、例えば私が薬を売ればその薬で元気になってくれるというように、マイナスではなくプラスになる事だというような違いではないかと思っています。

《会員増強部会》小原会員



伊藤さんの車に乗せてもらって、地区研修・協議会に参加してきました。

来年は長嶺ガバナーエレクトが主催するのだなあ、黒田ガバナーの前の年は皆で弘前に泊りがけで参加したなあと思うと、感慨深いものがありました。

私は、午後の分科会は会員増強部会に参加しました。

先ほど伊藤さんの話にもございましたが、鈴木ガバナー年度の地区テーマは“Miracle 1200 again: ミラクル 1200 を再び”ということで、会員増強はここ数年来、最も重要な目標の一つになっているものと思います。

部会では、八戸中央 RC の中村勉地区会員増強委員長がリーダーを務め、アドバイザーが笹森 PG、さらに川口 PG も参加なさいました。

部会では 2015 年 3 月 31 日現在の会員報告に基づき、2014 年 7 月 1 日に比べて会員が増加しているクラブの話聞き、その後惜しくも会員が減少しているクラブの話、その他のクラブという形で進められ、参加者は、全員 1 回は発言を求められました。

笹森 PG の弘前クラブでは、会員の JC の後輩を中心として入会予定者をリストアップ、面会し、その後で入会見込の濃淡により A から C にランク付けし、A、B ランクの人に重点的に接触するということでした。五所川原クラブでは、毎年度の始めに JC、YEG（商工会議所青年部）を中心に候補者をリストアップ、お試し例会やクリスマス例会に招待したりしているそうです。この 3、4 年は、歴代の JC 理事長が入会しており、入会の自然な流れができあがっているそうです。ちなみに、五所川原 RC の平均年齢は 54 歳だとのことでした。

最後に、「会員維持のために」という東京恵比寿 RC 石井義興氏の DVD を見ました。

石井氏によると、退会者の 4 割は 6 月に退会するので、自クラブの現状を認識し、会員増強のための長期計画を立てるのが重要とのことでした。退会防止には、「火の用心運動」と「一声かけ運動」が重要で、共に汗をかき、共に遊ぶことが重要であると強調されていました。

《広報部会》久保田会員

地区の次期広報委員と言う事で参加しました。ロータリーの広報がなぜ必要か、どのようにやるかと言う事がテーマでした。当クラブからは三浦会員も参加されましたが、各クラブが行っている広報活動についての発表がありました。各クラブとも目立ったものはあまり無く、従来 of 会報に掲載するとか、ロータリーの友に掲載すると言うような事が多かったようです。私はかねてより申し上げているように会員増強のためには我々の事をもっと PR すべきではないか、一般向けの広報活動をすべきではないかと思っておりますがその中の一つとして、各クラブでの一般紙への広報は難しいとは思いますが、何かイベントのある時、或は何かの募集をするときに「一緒に参加しませんか」と言うようなキャッチフレーズをポスターやチラシの片隅に入れている所もあるようですから、我々もロータリークラブの活動の内容をもっと PR していくべきではないかと話して参りました。



《広報部会》三浦晃会員



伊藤さんから次年度のコミュニケーション委員長を頼まれて行って参りました。当日広報のマニュアルを渡されたもので、会報・広報・IT 全部をやりなさいと書いてありましたが、準備や知識もないままの参加でした。広報や会報は今までもやってきているので何とかやれると思います。IT に関しましては、慶徳さんが会長の時に広報をやっており、その時にインターネットを我がクラブとして初めてスタートしました。インターネットにアップしているクラブは当時少なく、久保田さんには無償でホームページを作っていただきました。どうもありがとうございました。

《新会員部会》大橋会員

新会員部会に参加させていただきました。先輩方は良くご存知だとは思いますが。ロータリーの設立の流れとか、会員としての心構えを学びました。ポールハリスさんが 30 何歳かで設立したと言う事を聞いて、自分はあと数年で同じ年になりますが、あと数年で私は何が出来るのだろうと思いました。I SERVE とか WE SERVE とかいう事を言っていました。要するに奉仕するという事だと言う事で、自分が出来ることを精いっぱいやらせていただきますと言う事で終わりました。



《新会員部会》吉田賢会員



新会員部会に出席してきました。大橋会員がお話した通りですがロータリーが設立されたのが 1905 年と言うお話だったと思いますが、多分その頃は私の祖父がバリバリ頑張っている明治の頃だと思います。その時にたった 4 人でスタートしたと言うお話で約 110 年経った今現

在、200 を超える国と地域で会員数 120 万人を超えていて、クラブの数としては 34,500 余りのクラブがあるそうです。家の祖父が、もしそのようにスタートしたとしてどれだけ頑張ればこのように人の輪が広がるのだらうと思いました。スタートした時の皆さんの強い想いが回りの人たちにどんどん広がったと思うのですが、その想いと行動力と言うものを熱く感じて帰って参りました。

《ロータリー財団部会》長嶺会員



地区財団委員長として参加して参りました。財団部会での内容はガバナー月信に掲載されますのでご覧になってください。分科会の総括としてお話したのは地区補助金の申請書の事です、今は地区補助金をメインに活動しておりますが各クラブからの申請では書類の不備があり、私は委員長として今年3年目ですがいまだにきちんとした申請書が出てこないと言うのが現状です。皆さんにはチェックリストを配布しておりますので、申請するときはチェックリストに照らし合わせて間違いのない申請をして頂ければ、素早く皆さんに地区補助金を活用して頂けるとうことをお願いしてきました。

《ロータリー財団部会》熊谷会員

長嶺財団委員長と同じく3年委員会として財団の中の小委員会である地区補助金・社会奉仕委員長として参加して参りました。地区補助金については皆さん知っているようで知らない方が多く、全体の中で活用されているクラブも半分くらいしかないのが現状です。先日のPETSの時に聞いた時にも全然聞いたこともないという方もいらっしゃいましたが、これについては我々にも責任があるのかなと思いました。当日は地区補助金の収支とかお金の流れなどを皆さんに説明しました。地区補助金は申請が条件なのですが、あるクラブの会長さんから、寄付をいっぱいしているから地区補助金を使えるだろうという趣旨の発言がありました。地区補助金の申請の条件として財団のセミナーへの参加が義務付けられていますがこのクラブは一回も参加したことがありません。しかしながら寄付をしているから使えるだろうと言うような強引な論理でのお話でしたが認めるわけにはいきません。そのクラブとは財団委員長が個別にセミナーを行う事になりました。

